

2-11 公民館・その他集会施設

(1) 施設の概要、設置状況

公民館、その他集会施設は、以下の設置条例に基づき10の施設が設置され、全施設共通で実施している貸室業務の他、公民館事業、図書室、児童館、各種教室など多彩な事業を行っています。なお、大山田農村環境改善センターにおいては庁舎機能の一部を移転しているなど施設の多機能化を図っています。

<公民館、その他集会施設の設置条例一覧>

- ・伊賀市勤労者福祉会館の設置及び管理に関する条例
- ・伊賀市農業公園の設置及び管理に関する条例
- ・伊賀市ゆめぼりすセンターの設置及び管理に関する条例
- ・伊賀市公民館条例
- ・ライトピアおおやまだ設置条例
- ・大山田農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例
- ・青山文化センター設置条例

施設名称	地区	所管課	施設延床面積	駐車場	運営形態	設置根拠	備考
勤労者福祉会館	上野	商工労働課	792.28㎡	有	指定管理	伊賀市勤労者福祉会館の設置及び管理に関する条例	伊賀地区労働者福祉協議会に指定管理
農村ふれあいセンター	上野	農林振興課	404.95㎡	有	指定管理	地方自治法第244条の2/伊賀市農業公園の設置及び管理に関する条例	明日が楽しみな里づくり委員会に指定管理
ゆめぼりすセンター	上野	市民活動推進課	1149.42㎡	有	直営	地方自治法第244条の2第1項/伊賀市ゆめぼりすセンターの設置及び管理に関する条例	
いがまち公民館	伊賀	いがまち公民館	934.72㎡	有	直営	社会教育法第24条/伊賀市公民館条例	公民館図書室を併設
柘植公民館	伊賀	いがまち公民館	896.50㎡	有	直営	社会教育法第24条/伊賀市公民館条例	柘植歴史民俗資料館を併設
ライトピアおおやまだ	大山田	ライトピアおおやまだ	474.76㎡	有	直営	ライトピアおおやまだ設置条例	
大山田農村環境改善センター	大山田	大山田振興課	1489.91㎡	有	直営	大山田農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例	庁舎機能の一部が移転
大山田公民館	大山田	大山田公民館	591.00㎡	有	一部委託	社会教育法第24条/伊賀市公民館条例	公民館図書室を併設
青山公民館	青山	青山公民館	1288.05㎡	無	直営	社会教育法第24条/伊賀市公民館条例	公民館図書室を併設
青山文化センター	青山	青山文化センター	561.47㎡	有	直営	青山文化センター設置条例	児童館機能を併設

表2-2-31 公民館、その他集会施設の一覧

なお、上記の10施設の外、阿山公民館（阿山文化センター内）、島ヶ原公民館（島ヶ原会館内）でも同様のサービスを行っています。



ゆめぼりすセンター



大山田公民館

(2) 施設の状況

公民館、その他集会施設を構成している15棟の老朽化率の平均は64.6%であり、老朽化が進行しています。また、旧耐震基準建物で耐震改修を行っていない建物が5棟あります。なお、耐用年数を超過した建物も2棟あります。

施設名称	建物名称	延床面積	建築年度	老朽化率	残存年数	主体構造	耐震性	大規模改修	建物性能
勤労者福祉会館	会議室	339.40㎡	昭和57年度	84.0%	5年	鉄骨造	有	無	2.4点
	会館	452.88㎡	昭和45年度	80.0%	9年	鉄筋コンクリート	無	有	
農村ふれあいセンター	研修所	404.95㎡	平成10年度	80.4%	2年	木造	有	無	2.2点
ゆめぼりすセンター	本館	1149.42㎡	平成9年度	26.0%	36年	鉄筋コンクリート	有	無	3.6点
いがまち公民館	公民館1	688.00㎡	昭和46年度	78.0%	10年	鉄筋コンクリート	無	無	2.0点
	公民館2	156.00㎡	平成16年度	25.2%	17年	木造	有	無	
	事務所	90.72㎡	昭和46年度	100.0%	-2年	鉄骨造	無	無	
柘植公民館	公民館1	896.50㎡	昭和33年度	100.0%	-3年	鉄筋コンクリート	無	有	1.9点
ライトピアおおやまだ	奥馬野隣保館 教育集会所	391.76㎡	平成8年度	64.4%	7年	木造	有	無	2.5点
	奥馬野隣保館 教育集会所(増築)	83.00㎡	平成15年度	32.2%	14年	木造	有	無	
大山田農村環境改善センター	集会所	1489.91㎡	昭和57年度	61.6%	18年	鉄筋コンクリート	有	無	2.9点
大山田公民館	公民館	591.00㎡	平成13年度	24.3%	28年	鉄骨造	有	無	3.4点
青山公民館	公民館3	347.73㎡	平成6年度	32.0%	33年	鉄筋コンクリート	有	無	2.6点
	公民館1	940.32㎡	昭和49年度	72.0%	13年	鉄筋コンクリート	無	無	
青山文化センター	老川隣保館 老川児童館	561.47㎡	昭和57年度	56.0%	21年	鉄筋コンクリート	有	無	3.1点

表 2-2-32 建物性能一覧表

建物性能評価点を施設単位で比較した図2-2-65のグラフでは、いがまち公民館（2.0点）、柘植公民館（1.9点）の建物性能評価点が、用途内平均2.6点よりも低くなっています。

一方、ゆめぼりすセンター（3.6点）、大山田公民館（3.4点）は、平均点を上回っています。なお、農村ふれあいセンターやライトピアおおやまだも新しい施設ですが、主体構造が木造のため上記と比較して点数が低くなっています^{※65}。

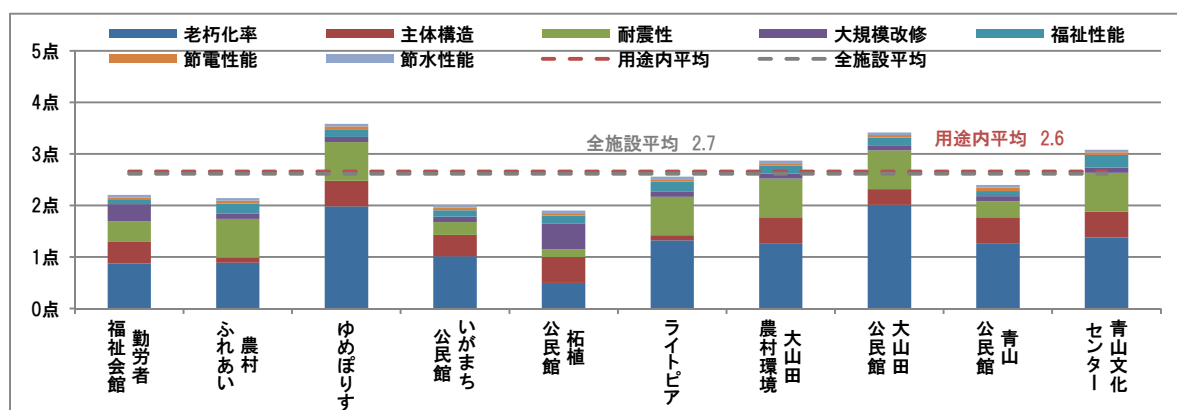


図 2-2-65 建物性能評価点の比較 (5点満点)

※65 財務省令に基づく、建物の用途構造別の耐用年数表 (P18) より、集会所などの法定耐用年数は、鉄筋コンクリートなどで47年、木造で22年となっています。

(3) 財務の状況

図2-2-66は、保有コストの過去3年間の推移と面積当たり保有コストを比較したグラフです。全体の保有コスト（53,127千円/年）のうち、光熱水費が占める割合が18%（9,634千円/年）と最も高く、次いで委託料の割合が18%（9,459千円/年）となっています^{※66}。

また、面積当たり施設保有コストでは、ゆめぼりすセンター（9.8千円/年）、ライトピアおおやまだ（12.3千円/年）が用途内平均（6.4千円/㎡）を大きく上回っています。

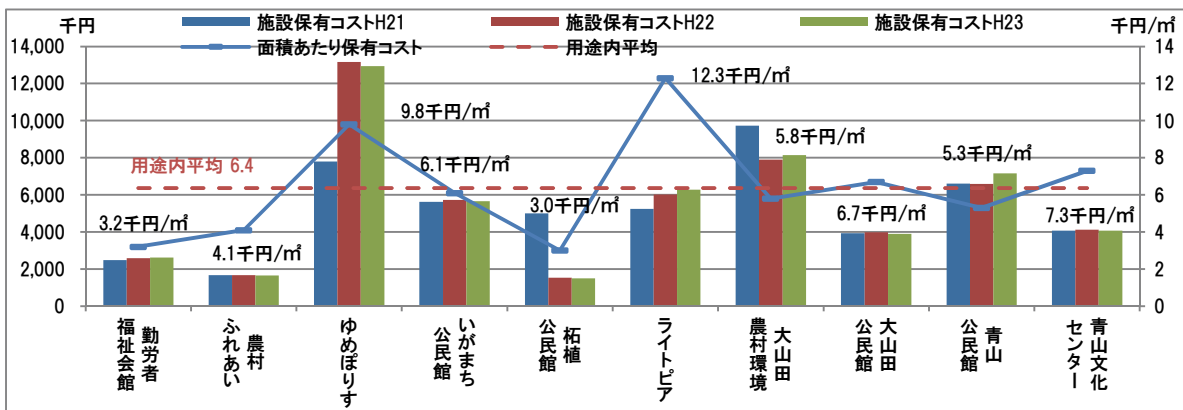


図2-2-66 施設保有コストの推移と面積当たり保有コストの比較

利用者一人当たりコストについては、ライトピアおおやまだ、青山文化センターが用途内平均の2,258円/人を大きく超えています。一方で、ゆめぼりすセンターでは1,000円/人以下となっています。

なお、最も少ないゆめぼりすセンター（639円/人）と最も多い青山文化センター（4,871円/人）では、約7.6倍の差が生じています。

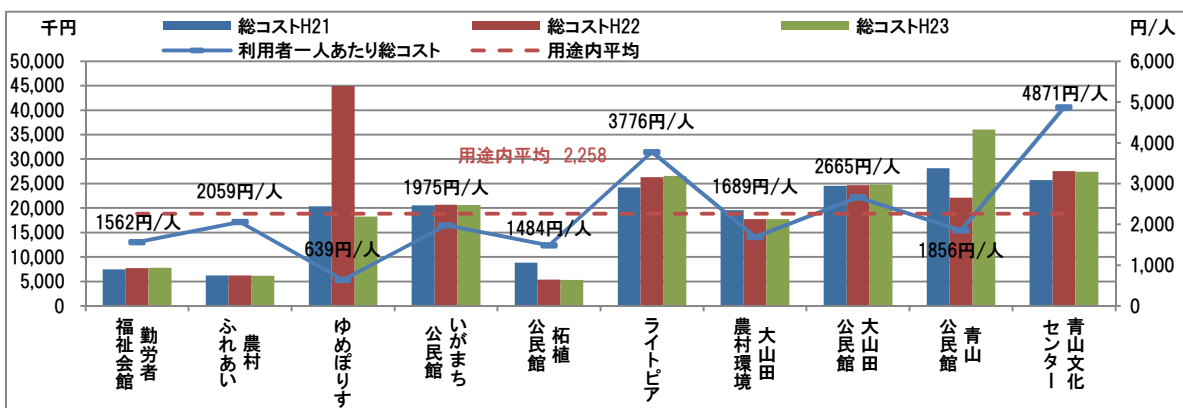


図2-2-67 総コストの推移と利用者一人当たり総コストの比較

※66 指定管理施設である勤労者福祉会館、農村ふれあいセンターの光熱水費などは指定管理料に含まれているため、施設保有コストには計上していません。

(4) 供給の状況

公民館、その他集会施設の直近の利用者数は、3,000人から43,576人と各施設の利用者数は大きく異なっています。また、過去3年間の利用者数の増減率を比較すると、20.0%の増加から41.9%の減少となっており、施設間で大きなばらつきがあります。

施設名称	利用者数_H21	利用者数_H22	利用者数_H23	増減率	貸室部屋数	貸室コマ数	稼働率
勤労者福祉会館	7,606 人	6,771 人	4,913 人	-35.4%	9 室	9,693 コマ	83.7%
農村ふれあいセンター	2,500 人	2,700 人	3,000 人	20.0%	3 室	1,320 コマ	11.1%
ゆめぼりすセンター	—	—	43,576 人	—	14 室	10,555 コマ	11.6%
いがまち公民館	12,090 人	12,877 人	10,427 人	-13.8%	2 室	1,533 コマ	13.4%
柘植公民館	7,549 人	5,066 人	4,383 人	-41.9%	4 室	2,811 コマ	4.5%
ライトピアおおやまだ	6,973 人	7,238 人	6,800 人	-2.5%	6 室	2,100 コマ	13.5%
大山田農村環境改善センター	—	12,801 人	10,857 人	-15.2%	6 室	4,523 コマ	4.9%
大山田公民館	7,616 人	9,379 人	9,253 人	21.5%	3 室	2,108 コマ	19.7%
青山公民館	17,000 人	15,000 人	15,500 人	-8.8%	5 室	3,455 コマ	21.5%
青山文化センター	5,837 人	5,906 人	5,520 人	-5.4%	3 室	30,996 コマ	10.4%

表 2-2-33 公民館、その他集会施設の利用状況

公民館、その他集会施設については、貸室の稼働率^{※67}（提供可能なコマ数に対する利用コマ数の実績）を指標として比較を行いました。貸室稼働率は、柘植公民館、大山田農村環境改善センターで10%未満となっています。また、その他の施設の稼働率も10%～20%台と他用途の貸室の稼働率と比較して低くなっています。

一方で、勤労者福祉会館は83.7%と高くなっていますが、これは年間契約の貸出を行っている6区画が全て埋まっているためであり、通常の貸室の稼働率は他の施設と同様に稼働率が低くなっています。

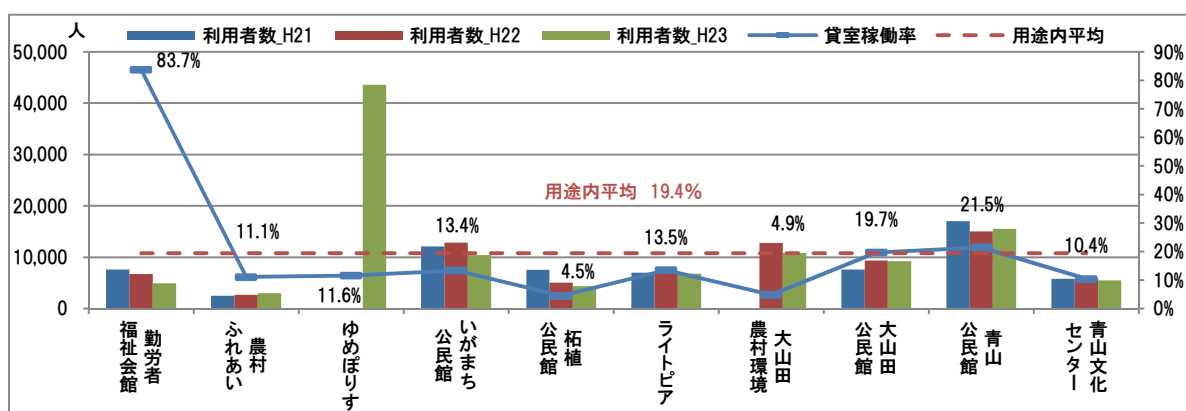


図 2-2-68 利用者数の推移と貸室施設稼働率の比較

※67 貸室数については、「平成24年度教育方針及び努力目標」（伊賀市教育委員会）
<http://www.iga.ed.jp/iin/h24kyouikuhousin.pdf> の内容から作成しています。

(5) 施設配置状況及び需給の動向

公民館、その他集会施設は、サービス供給エリアを各支所エリア、柘植地域まちづくり協議会エリア（柘植公民館のみ）とし、需要者を全年齢層と設定しました。需要者一人当たりの供給状況を比較すると、ライトピアおおやまだ、大山田公民館、大山田農村環境改善センターの3施設が設置されている大山田支所エリアが2.29、柘植地域まちづくり協議会が1.58と、需給バランスが平均の1.00を超えています。

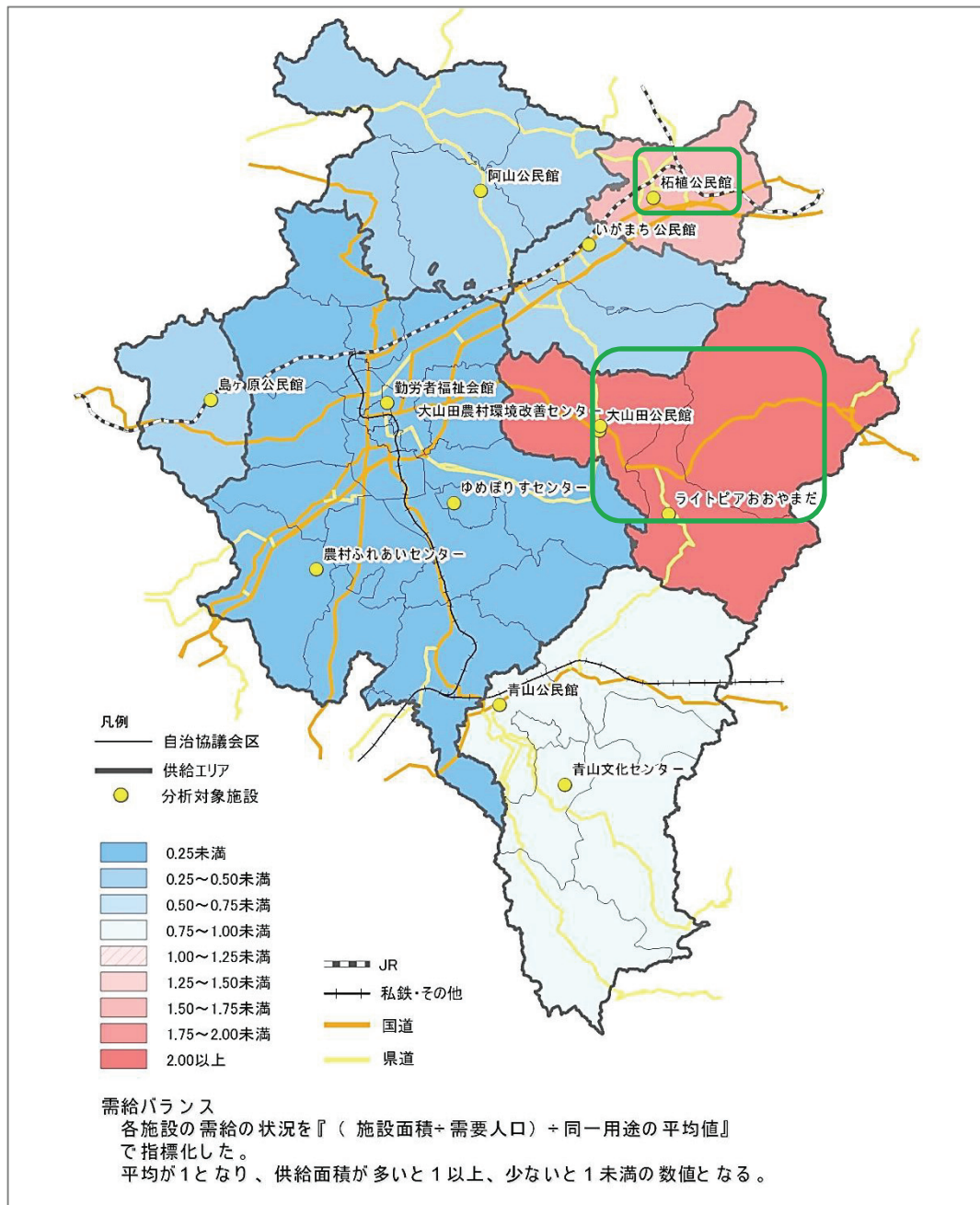


図2-2-69 需要人口（平成22年10月1日時点）一人当たりの施設供給量の比較

また、需要人口の将来推計からは、平成 22（2010）年度の97,207人から平成47（2035）年度には70,358人と、27.6%の減少が見込まれます。

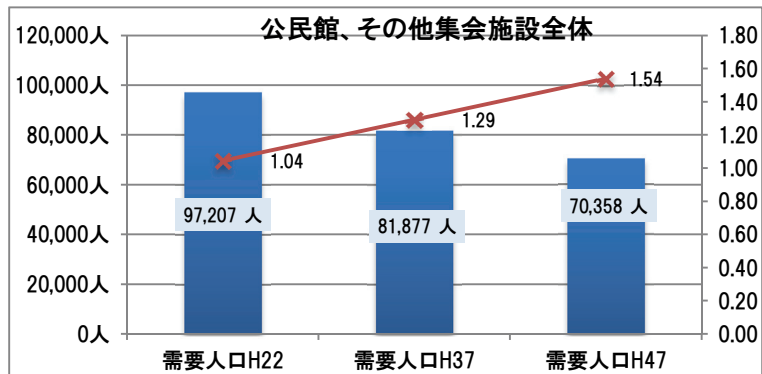


図 2-2-70 公民館、その他集会施設の需要人口と需給バランスの将来推計

また、個別エリアの将来推計結果からは、大山田支所エリアの需給バランスが2.29から3.45、柘植地域まちづくり協議会エリアは1.58から2.37へと変化することが見込まれます。

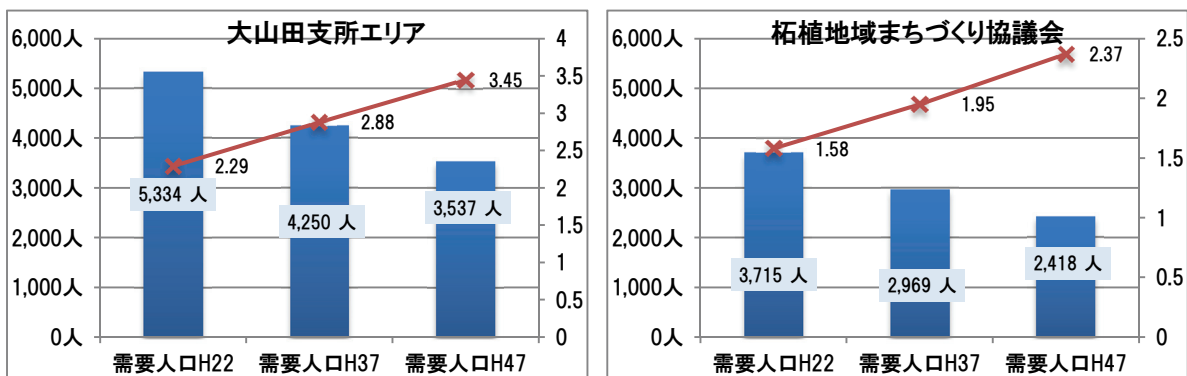


図 2-2-71 需要人口と需給バランスの将来推計（大山田、柘植）

以上までの需給動向の推移から、大山田支所エリア及び柘植地域まちづくり協議会エリアは、将来的には、需要人口に対して現在の供給量がより余裕傾向となることが想定されます。

(6) 現状と課題

<施設>

全体の老朽化率は64.6%と進行しており、耐震性が低い建物が5棟、耐用年数を超過した建物が2棟あります。このため、短期的には、昭和40年代までに整備され、今後10年以内に耐用年数を迎える建物の更新の是非や優先順位を検討する必要があります。

<財務>

利用者一人当たり総コストでは最大10倍以上の差が生じているなど、一人当たりで比較した効率性に大きな格差が発生しているため、平準化に向けた取組を検討する必要があります。

<供給・需給>

施設の利用者数が減少傾向にあり、10施設中8施設の貸室稼働率が20%未満となっており、改善の必要があります。特に、貸室については他用途の施設でも供給しており、今後は複合化などを検討していくことが考えられます。

